
2015年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2015年2月12日

<概況>

- **売上高は前年同期比で +18.3%、増収幅を拡大**
 - ― 中国、アジアが低迷しているものの、好調な北米が全体をけん引し、増収
 - ― 第3四半期からPEERLESS社が連結業績に寄与、米州事業をさらに強化
- **前年比で減益も、おおむね計画通りの進捗**

<通期業績予想>

- **初の売上高 500億円 の大台を視野に、通期業績の達成へ注力**
 - ― 米州事業の好調な業績が持続、PEERLESS社の業績も寄与

2015年3月期 第3四半期 決算報告

2015年3月期 見通し

中長期計画進捗状況

2015年3月期 第3四半期 決算ハイライト

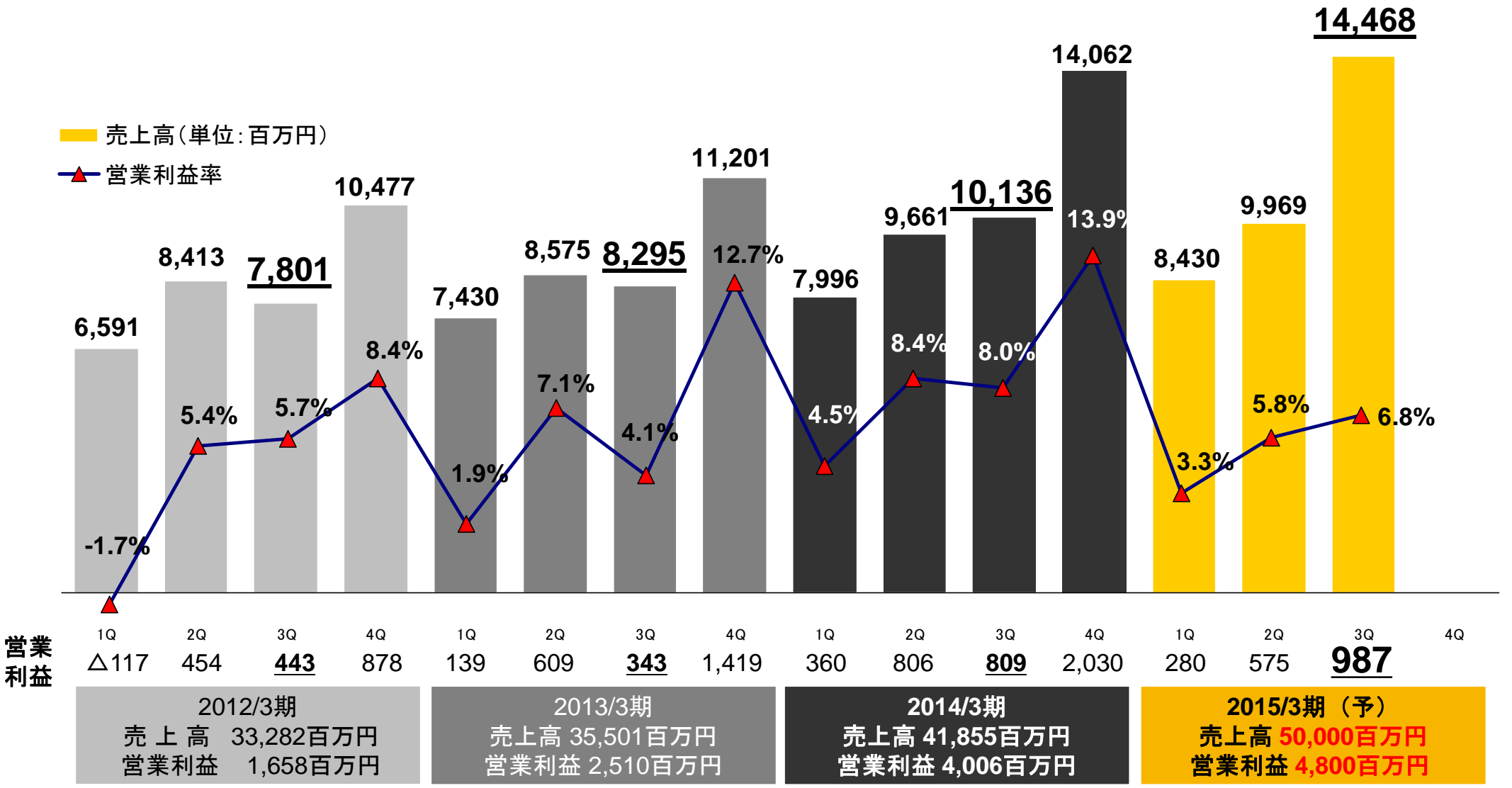
(単位：百万円)	2014/3期 3Q			2015/3期 3Q		
		対売上	前年同期比		対売上	前年同期比
売上高	27,793	100.0%	14.4%	32,868	100.0%	18.3%
営業利益	1,976	7.1%	81.0%	1,842	5.6%	▲6.7%
経常利益	2,140	7.7%	87.3%	1,904	5.8%	▲11.0%
当期純利益	1,280	4.6%	134.5%	1,269	3.9%	▲0.9%

注 為替レート(2014/3期3Q→2015/3期3Q) :

USD 99.3円 → 106.8円 CAD 95.7円 → 96.6円 EUR 132.2円 → 140.2円 RMB 15.6円 → 16.7円

売上高および営業利益率(四半期比較)

前年同期比18.3%の増収、好調な米州事業が寄与



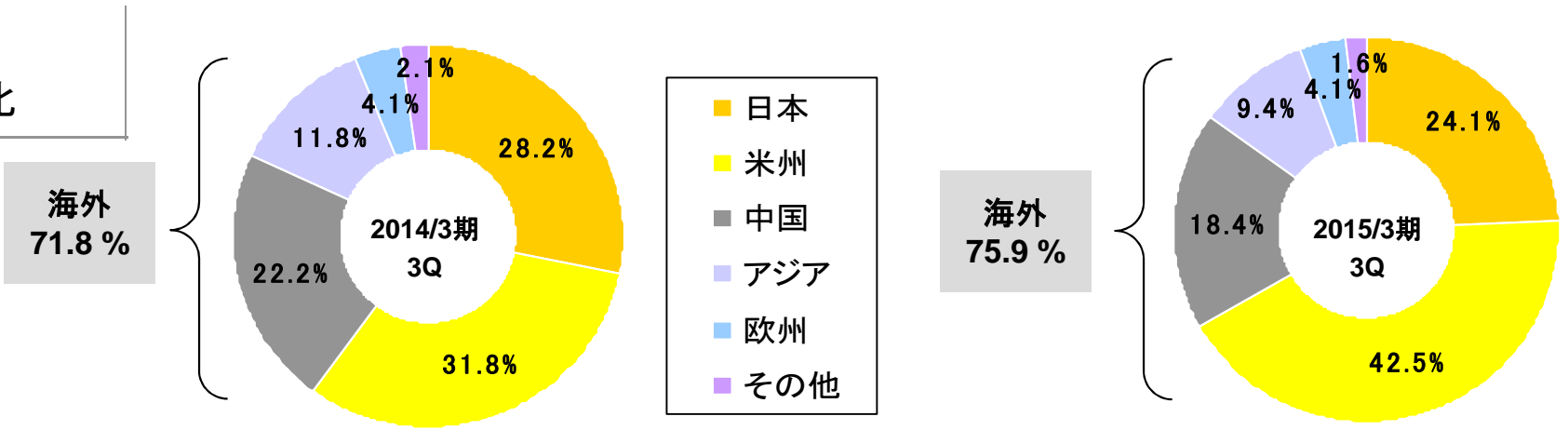
地域別の状況

グローバルな事業展開を引き続き促進、海外売上比率は約 76 %

(単位:百万円)	2013/3期 3Q		2014/3期 3Q		2015/3期 3Q		前年同期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	24,300	100.0%	27,793	100.0%	32,868	100.0%	5,074	18.3%
日本	8,262	34.0%	7,842	28.2%	7,921	24.1%	77	1.0%
米州	6,840	28.1%	8,832	31.8%	13,961	42.5%	5,129	58.1%
中国	5,105	21.0%	6,106	22.2%	6,041	18.4%	▲65	▲1.1%
アジア	2,649	10.9%	3,284	11.8%	3,096	9.4%	▲187	▲5.7%
欧州	889	3.7%	1,144	4.1%	1,337	4.1%	192	16.9%
その他地域	553	2.3%	583	2.1%	510	1.6%	▲73	▲12.5%

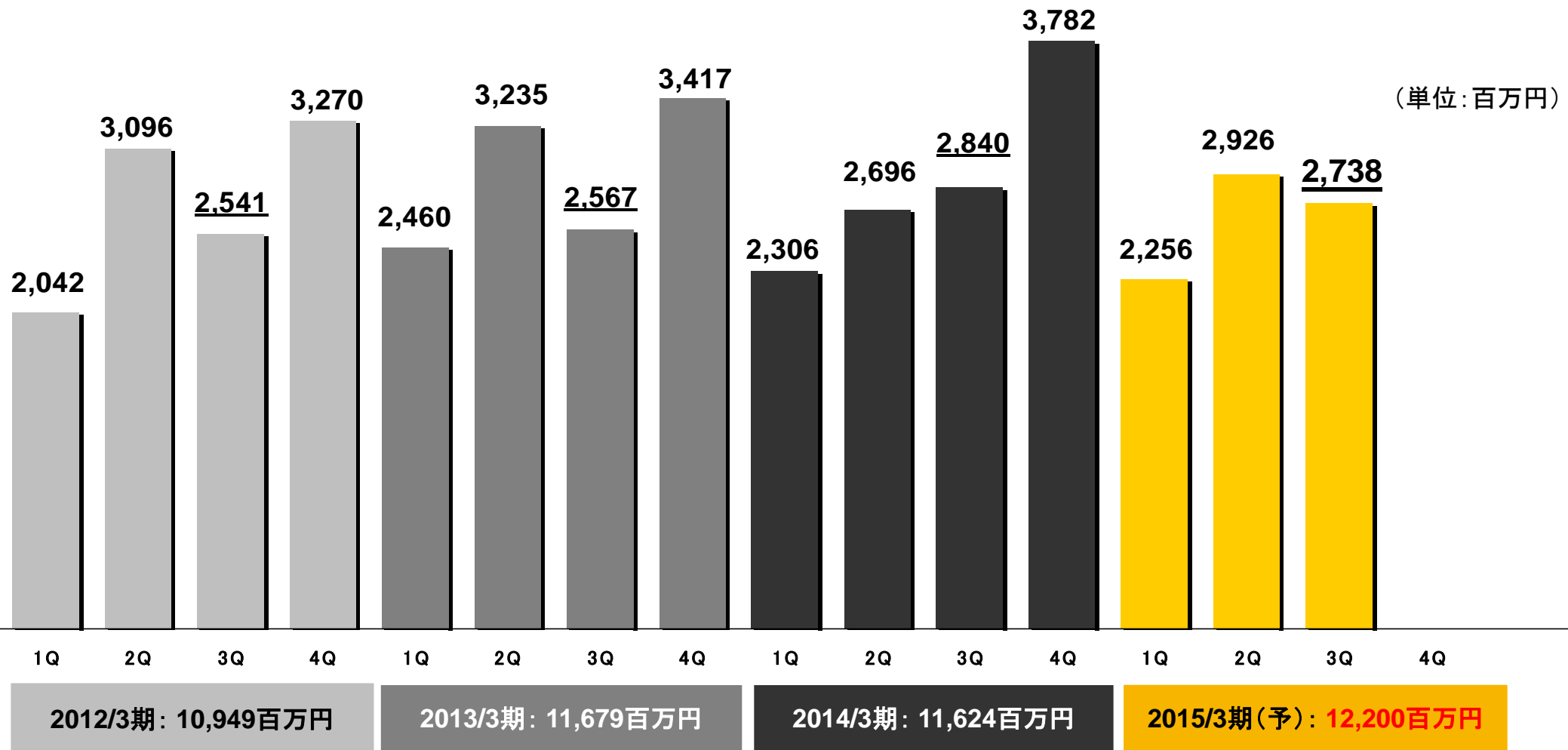
注 為替レート(2014/3期3Q→2015/3期3Q) : USD 99.3円 → 106.8円 CAD 95.7円 → 96.6円 EUR 132.2円 → 140.2円 RMB 15.6円 → 16.7円

地域別
売上高構成比



地域別売上高(日本)

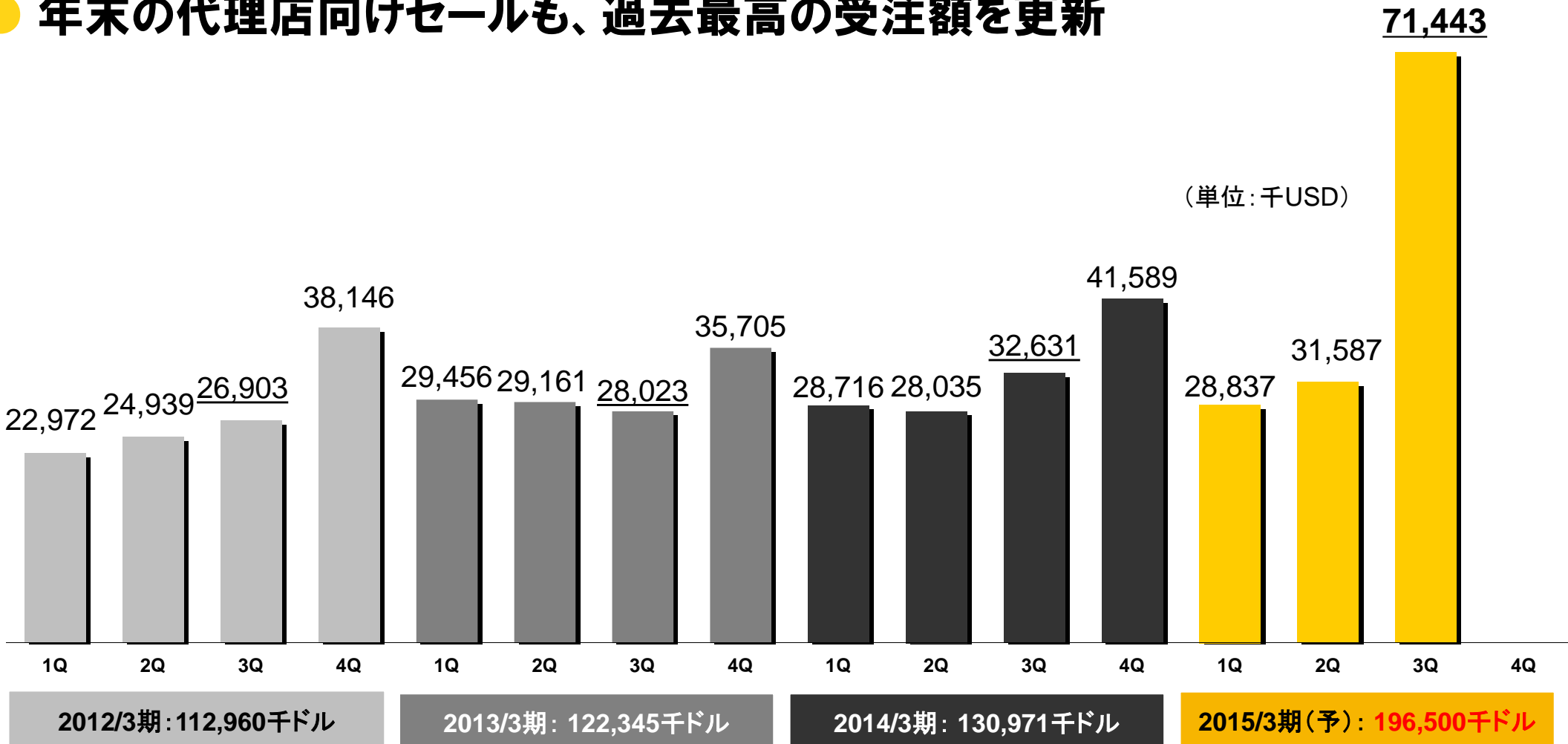
- 民間設備投資向けの需要は、ゆるやかな拡大基調が続く
- 建築土木の工事に若干の遅れが見られるが、需要は堅調



地域別売上高(米州)

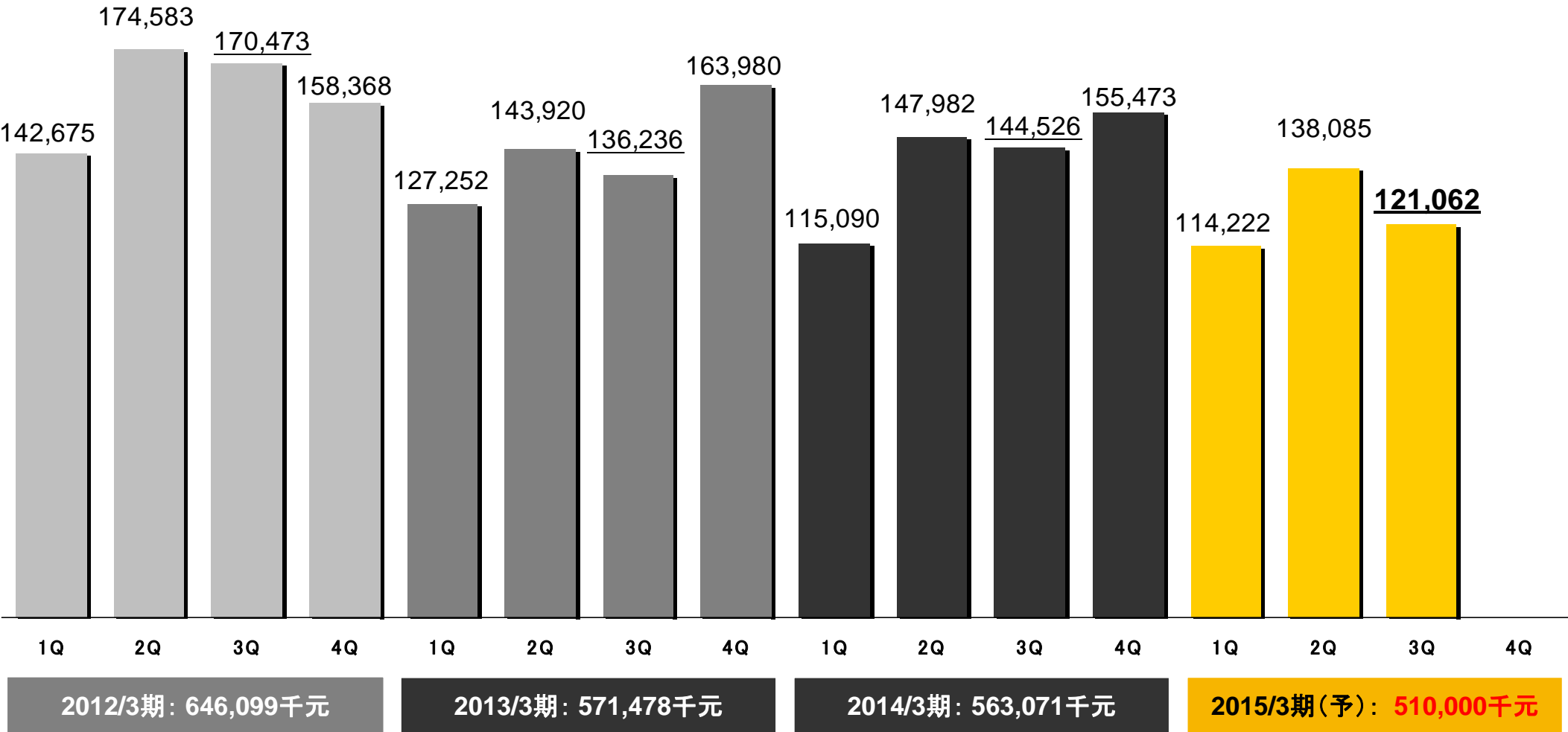
※グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高(千ドル換算)を加算した金額の推移

- 米国は製造業ほか幅広い産業に向けて、需要が堅調に推移
- Q3からPEERLESS社が連結業績に寄与
- 既存事業も好調、現地通貨ベースで 前年比 8.2%増
- 年末の代理店向けセールも、過去最高の受注額を更新



- 経済の減速が続き、景気の見通しは依然として不透明
- 円安効果あり、日本円換算後でほぼ前年並み

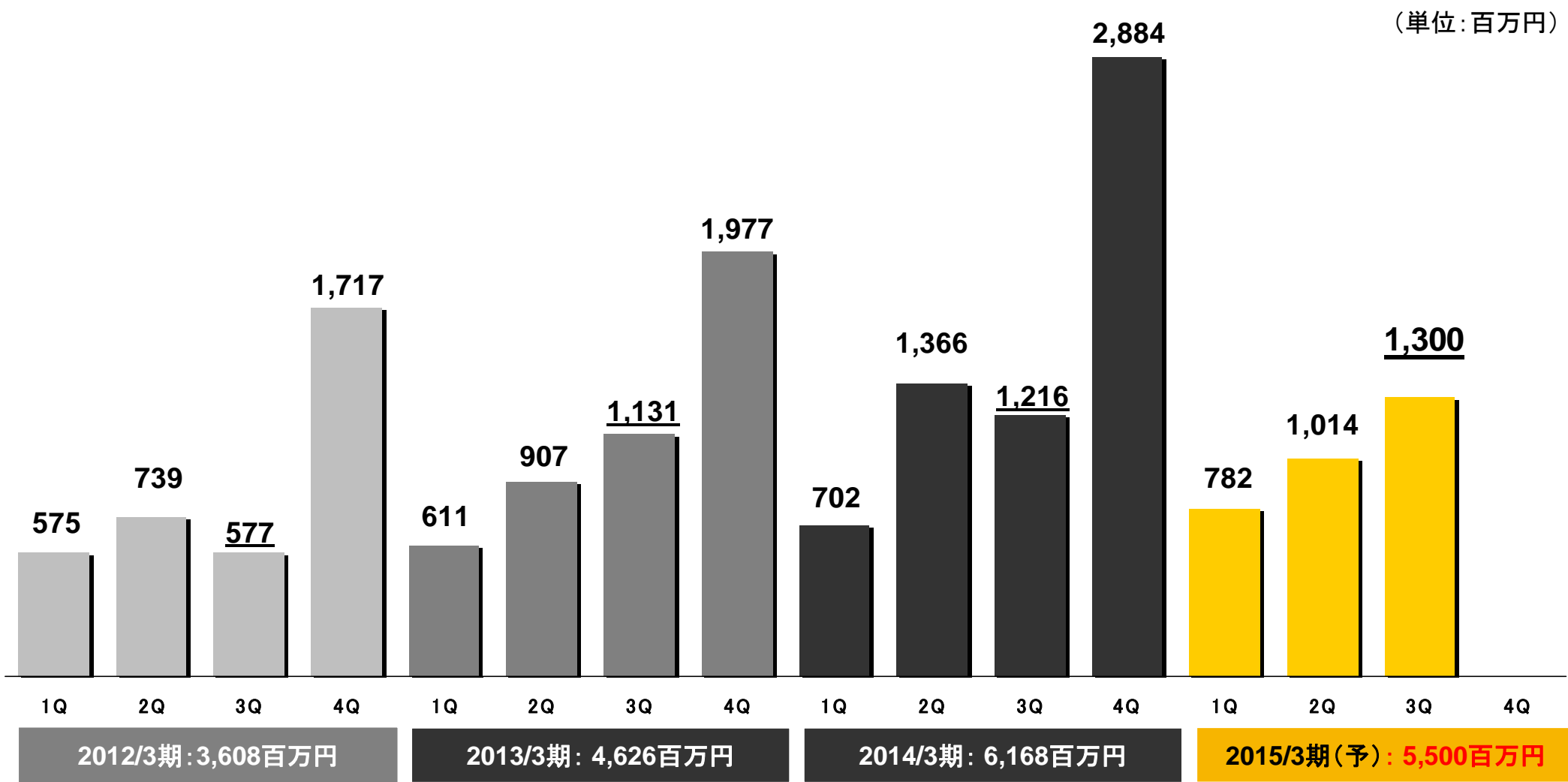
(単位:千RMB)



地域別売上高(アジア)

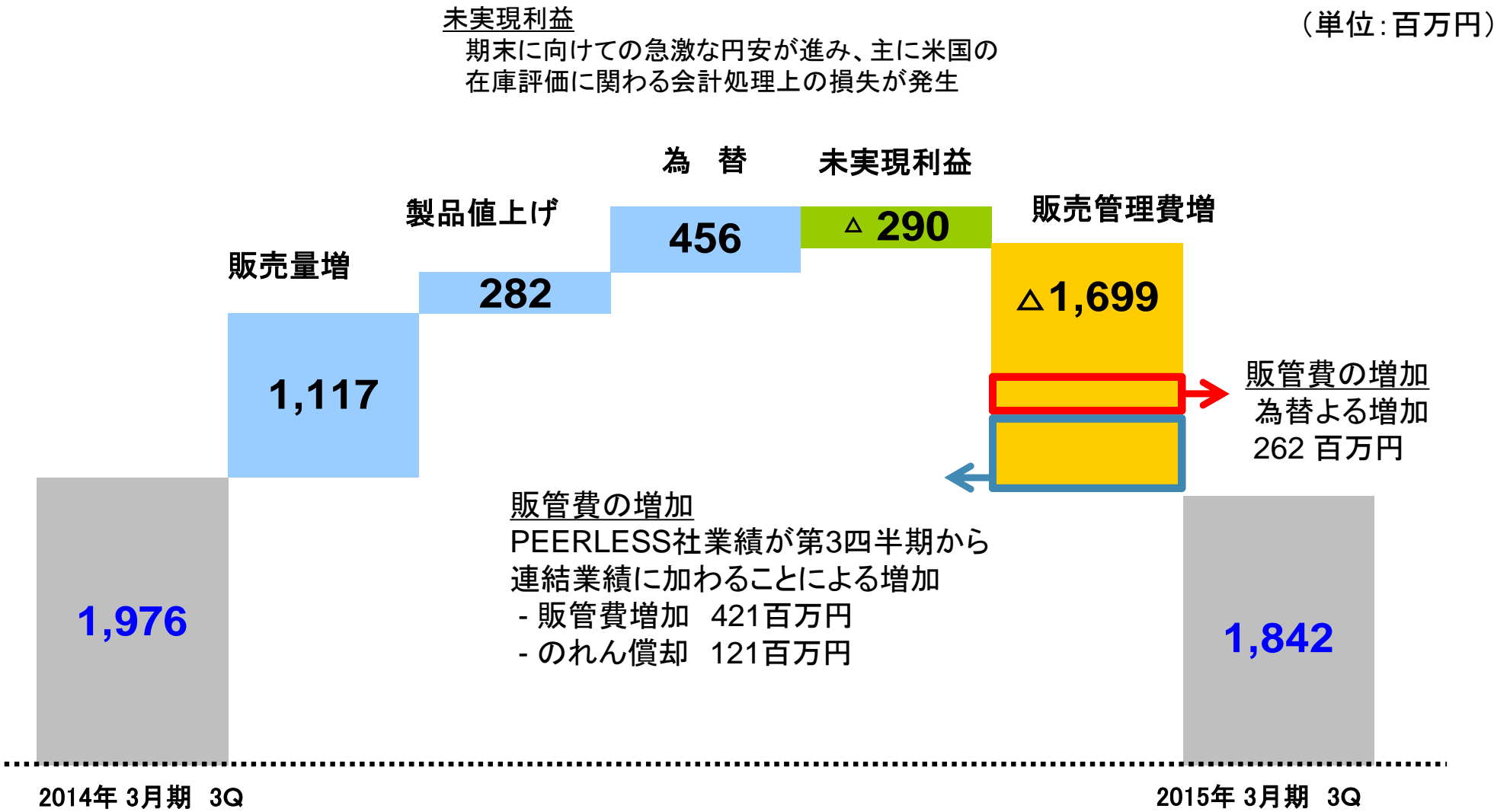
※タイ、韓国は1-12月決算

- 地域経済に不透明感あり、成長の勢いが鈍化
- タイの落ち込み大きく、前年比で5.7%の減



営業利益の比較

当社計画に沿って 中計達成に向けた本部・子会社の体制を強化



2015年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

単位:百万円 (百万円以下切捨て)	2014/3期 期末	2015/3期 3Q	増減額
流動資産	27,920	39,746	11,825
現金・預金	6,230	8,745	2,514
受取手形及び売掛金	9,414	10,579	1,165
たな卸資産	10,327	17,452	7,124
その他	1,948	2,969	1,020
固定資産	13,181	21,228	8,047
有形固定資産	10,003	11,655	1,652
無形固定資産	1,194	8,024	6,829
投資その他資産	1,982	1,548	▲433
繰延資産	5	2	▲3
資産合計	41,108	60,977	19,869

単位:百万円 (百万円以下切捨て)	2014/3期 期末	2015/3期 3Q	増減額
流動負債	12,528	31,398	18,869
支払手形及び買掛金	5,249	6,680	1,430
短期借入金	2,621	18,747	16,126
その他	4,657	5,970	1,312
固定負債	6,576	5,134	▲1,441
社債	1,000	0	▲1,000
長期借入金	2,805	2,162	▲642
その他	2,771	2,972	201
純資産合計	22,003	24,444	2,441
負債純資産合計	41,108	60,977	19,869

2015年3月期 第2四半期 決算報告

2015年3月期 見通し

中長期計画進捗状況

日 本



市場環境

- 前年度からの 緩やかな景気回復基調が持続
- 民間設備投資は堅調、インフラ整備ほか建築土木の需要は旺盛

取り組み

- ロープホイスト販売に注力、クレーンビルダーなどの販路拡大
- 2014年4月から新流通制度スタート

米 州



市場環境

- 米国は幅広い産業で需要が堅調に推移
- メキシコ他、中南米に関しては引き続き需要拡大を見込む

取り組み

- コンサートホイスト、ワイヤーロープなど新製品の品揃え拡充
- 一部製品の現地生産化の拡大によりサプライチェーン最適化

中 国



市場環境

- 経済の減速傾向が続き、景気の不透明感は払しょくされず
- 東北・内陸部での潜在需要あり
- 自動車向けは需要底堅いも、競争激化

取り組み

- 東北・内陸地域における販路拡大を継続

ア ジ ア



市場環境

- 地域経済、自動車業界の設備投資の成長に鈍化
- 引き続き地域のマクロ情勢の見極めが必要

取り組み

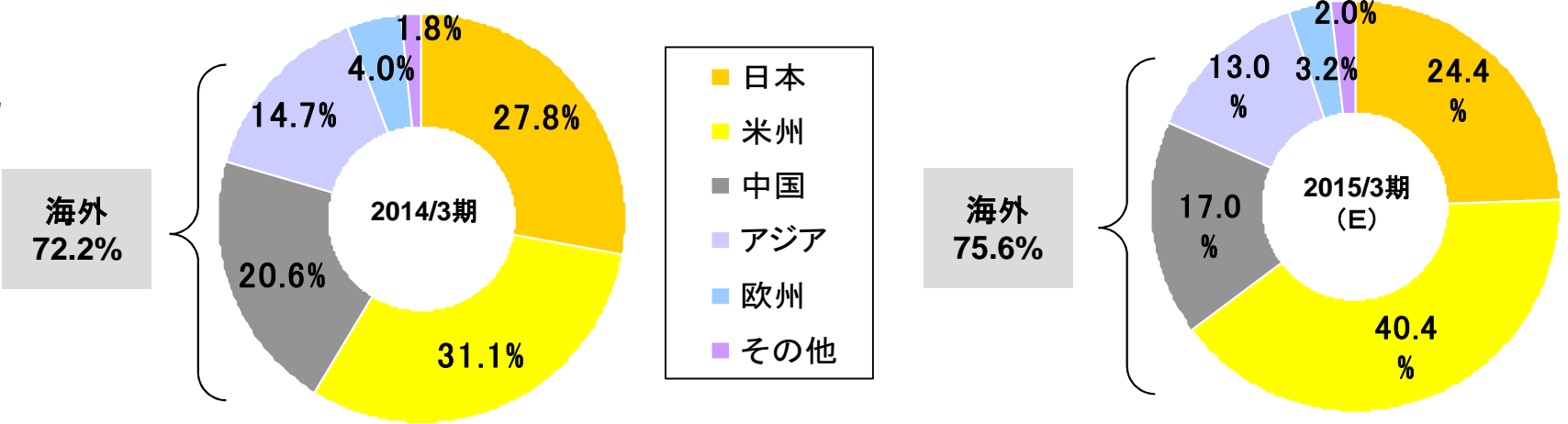
- サービス事業の強化
- 利益管理の強化・拡大

2015年3月期 業績予想(地域別)

(単位:百万円)	2014/3期		2015/3期(E)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	41,855	100.0%	50,000	100.0%	8,145	19.5%
日本	11,624	27.8%	12,200	24.4%	575	4.9%
米州	13,034	31.1%	21,200	42.4%	8,166	62.7%
中国	8,603	20.6%	8,500	17.0%	△ 103	△ 1.2%
アジア	6,168	14.7%	5,500	11.0%	△ 668	△ 10.8%
欧州	1,665	4.0%	1,600	3.2%	△ 65	△ 3.9%
その他地域	759	1.8%	1,000	2.0%	241	31.8%

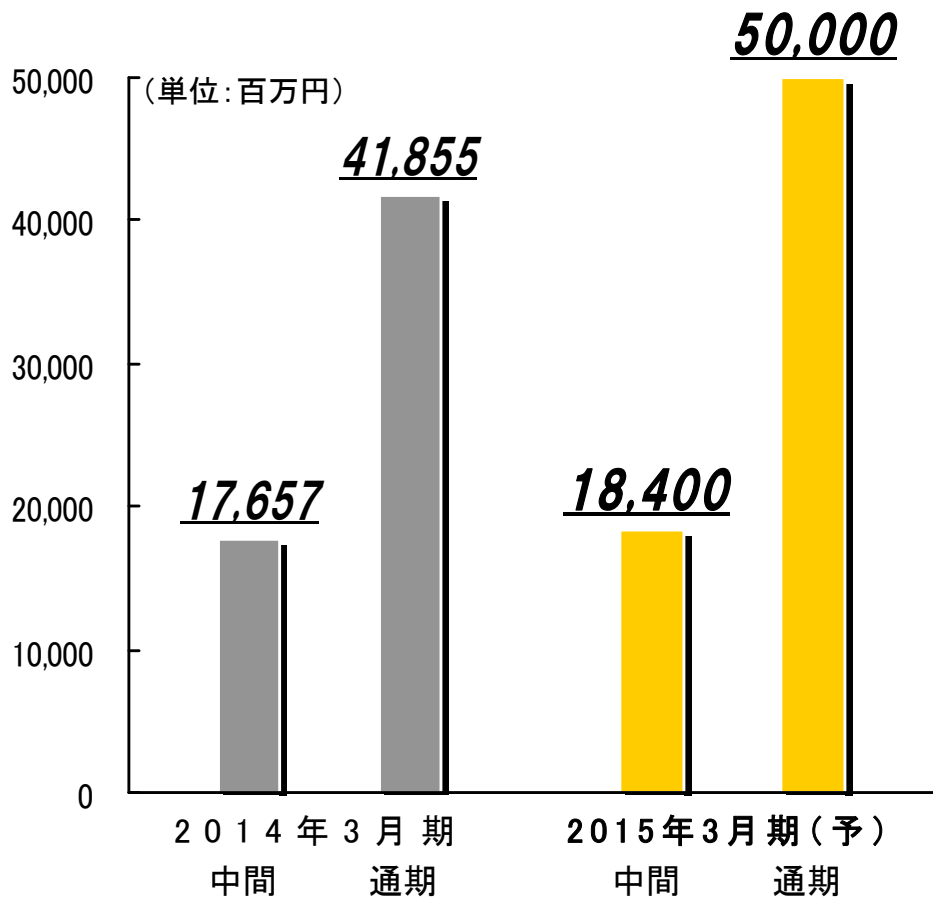
注 為替レート(2014/3期→2015/3期) : USD 100.2円→**107.9円** CAD 95.1円→**95.2円** EUR 134.4円→**136.7円** RMB 15.9円→**16.7円**

地域別
売上高構成比

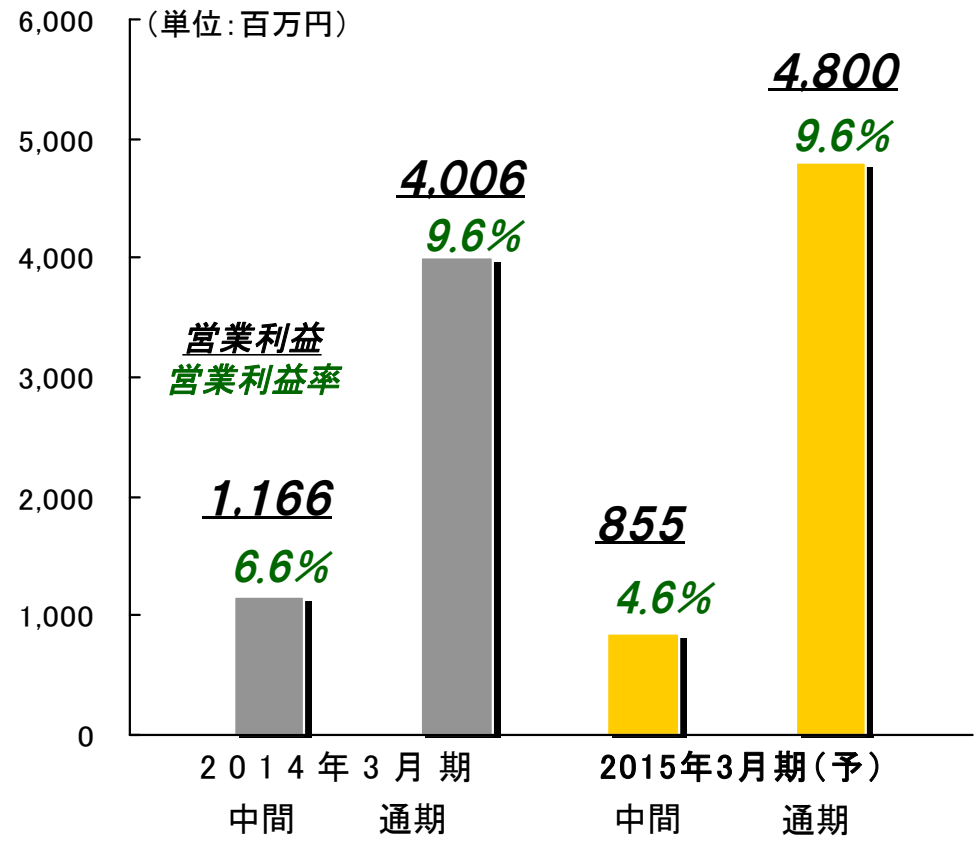


**米州、国内市場が業績をけん引
中国・アジア市場の落ち込みを補い、売上高500億円の大台に**

売 上 高



営 業 利 益 ・ 営 業 利 益 率



EPS、ROEともに改善

(単位：百万円)	2014/3期			2015/3期 (E)		
		対売上	前期比		対売上	前期比
売上高	41,855	100.0%	17.9%	50,000	100.0%	19.5%
営業利益	4,006	9.6%	59.6%	4,800	9.6%	19.8%
経常利益	4,094	9.8%	67.7%	4,600	9.2%	12.4%
当期純利益	2,361	5.6%	130.8%	3,100	6.2%	31.3%
EPS	91.25円	-	130.8%	118.67円	-	31.3%
ROE	12.3%	-	-	≒14.0%	-	-
設備投資額	2,440	-	-	2,020	-	-
減価償却費	954	-	-	1,380	-	-

注 為替レート(2014/3期→2015/3期) : USD 100.2円→107.9円 CAD 95.1円→95.2円 EUR 134.4円→136.7円 RMB 15.9円→16.7円

注 2014年3月期のEPSは、2014年10月1付で実施の普通株式1株2に株の割合での株式分割を反映させた数値です。

2015年3月期 第2四半期 決算報告

2015年3月期 見通し

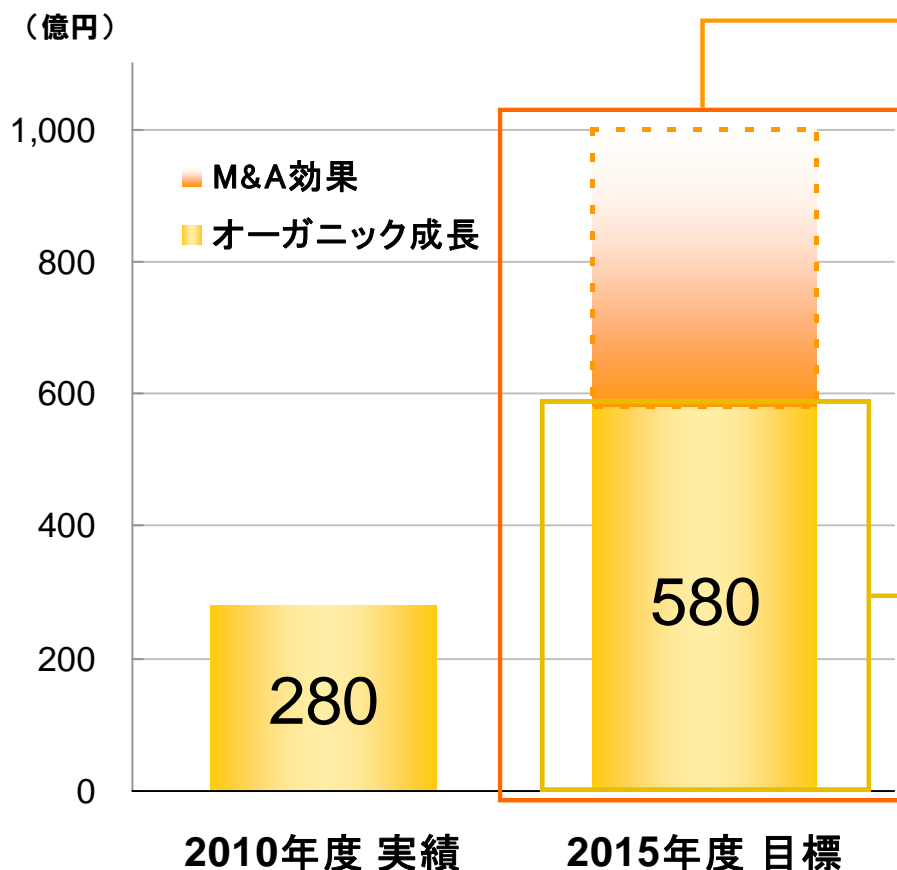
中長期計画進捗状況

中期経営計画(2011-2015)

中期目標

- 日本企業から真のグローバル企業へ
- グローバル売上1000億円企業となる

売上見込および目標



グローバル売上1,000億円企業となる

オーガニック成長の売上580億円に加え、積極的なM&Aによるさらなる拡大を進め、売上1000億円を超える企業となる

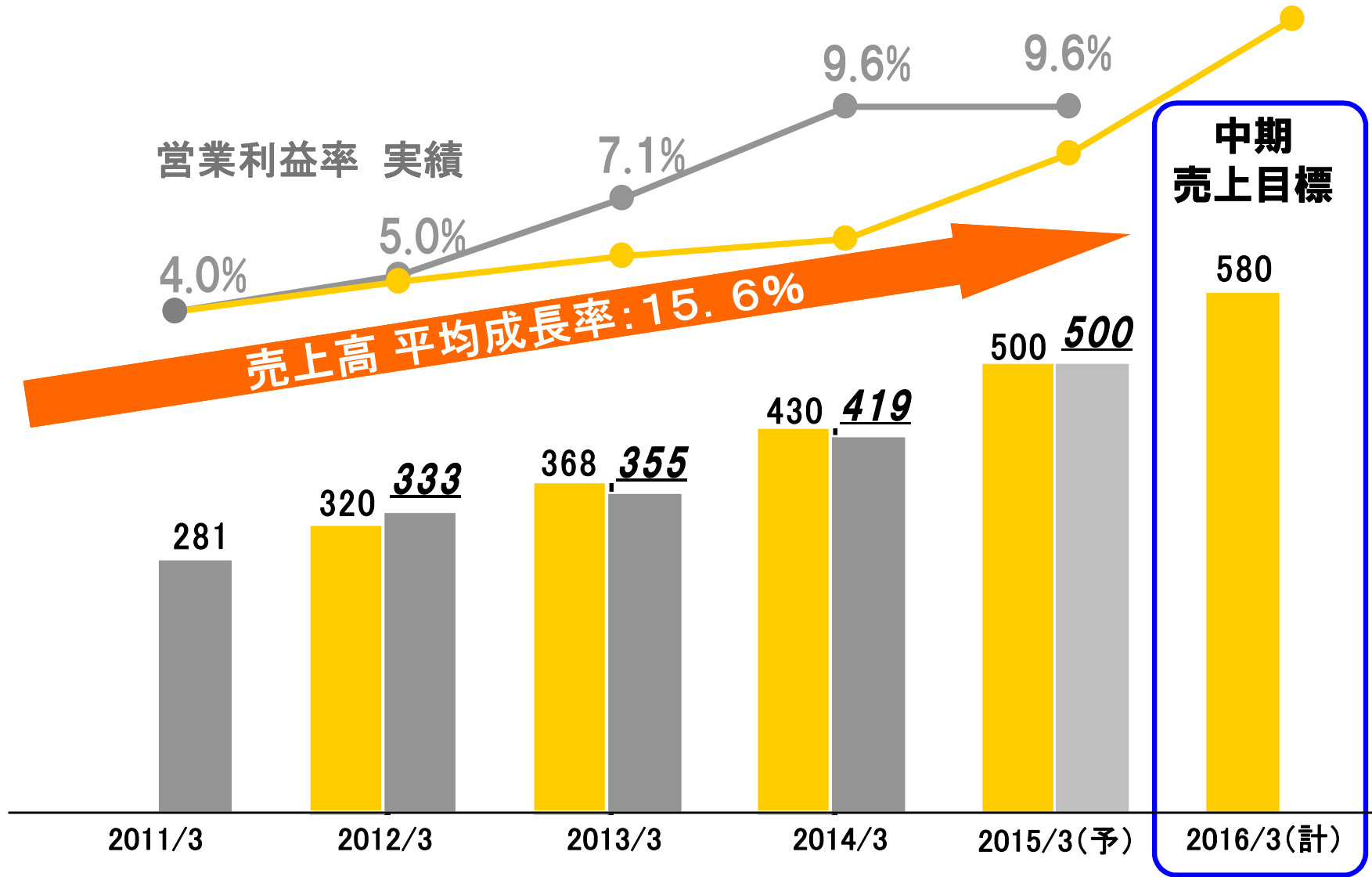
日本企業から真のグローバル企業へ

キトーがグローバルNo.1のホイストメーカーになるために、今後の5年間は事業規模拡大の大きなチャンスである。日本発の海外事業拡大から、世界各地のリソースを活用した事業拡大へと転換していく

中期経営計画の進捗状況

前期の遅れを挽回し、中期経営計画の達成へ

営業利益率 目標
12.0%



参考資料：取扱製品

取扱製品の分類		手動製品	電動製品	クレーン、その他
標準製品	顧客の一般的なニーズに対応した規格製品	 <p>手動チェーンブロック</p> <p>レバーブロック</p>	 <p>電気チェーンブロック</p> <p>ロープホイスト</p>	 <p>スリング製品</p> <p>サドル・クレーンコンポーネント</p>
		 <p>手動チェーンブロック(100t)</p>	 <p>ライトクレーン</p> <p>天井走行クレーン</p>	 <p>システムクレーン</p> <p>マニピュレータ</p>
特殊製品	顧客の様々なニーズに合わせてオリジナル設計・制作した製品			
その他	アフターサービス等	各種部品の提供、メンテナンス等		

 = 当社の主要製品

For the Global Next Stage

KITO

KITO group global unified slogan

常にお客様の期待を上回る価値を提供し続け、
市場におけるキトーブランドの価値を最大化し、
「真のグローバルNo.1のホイストメーカー」を目指します。